

9月議会の一般質問で追及した問題点

- ①不動産鑑定の結果が報告される以前に、土地の単価が決められていた。
- ②当初、鑑定評価額16,800円/㎡のみ説明されていたが、土地取得後にもう1社の鑑定評価額9,130円/㎡が判明した。
- ③議員からの不動産鑑定書の資料請求に対し、2社ある内の1社しか情報提供しなかった。
- ④本来、担当の企画課が2社不動産鑑定を発注すべきところ、1社は道路課が不動産鑑定を行い、それを使用した。これは、地方自治法に抵触するのではないか。
- ⑤不動産鑑定業務委託に関する書類の不備、など

9月議会最終日、つくば市長から議会に異例のお詫びがありました。

3月議会で総合運動公園の土地取得の議決があり、賛成14人・反対13人と議会は真つ二つ。つくば・市民ネットワークは議論不十分、進め方が拙速として土地取得から反対の姿勢。3月議会以降、総合運動公園について質問を重ねてきました。

今議会では、主に土地取得に集中して質問。答弁から、土地の価格について高めの誘



導が行われた可能性や、事務処理上の不適切さなど不透明な点が続出しました。

これらの疑問を追求した結果、不備を認める市長答弁

総合運動公園の土地取得 不適切な事務処理 安易な答弁の数々 市長謝罪!

があり、議会最終日には、改めて市長から議会に対しお詫びがありました。

しかし、詫びて済まされる問題ではありません。僅差で決まった土地取得の議案は、行政から議会へ正確で迅速な資料提供や説明が行われていたら、賛否が変わった議員もいるかもしれないのです。

次々発覚する不適切な事務処理や安易な答弁は見逃ごせません。折しも、議会改革に取り組んでいる最中のつくば市議会として、行政運営を監視するという議会の任務を全うする

ため、市民ネットワークから「議会における資料提出、答弁について誠実な対応を求める決議」を提出。大多数の賛成で採択されました。(賛否の詳細は裏面をご覧ください)

「大規模な総合運動公園建

POST CARD

3058790

料金受取人払郵便



差出有効期間
平成28年11月
12日まで

郵便切手はいりません

つくば市千現1-18-5-101

つくば市議会会派
つくば・市民ネットワーク行



つくば市総合運動公園用地(つくば市大穂)を視察。
市街化区域というが、現況は手つかずの雑木林。

市民有志による住民投票に向けての動きも始まっています。

私たち、つくば・市民ネットワークは、「大事なことは市民が直接決める」住民投票へ向け、引き続き真相明を行い、市民への情報提供を行っていきます。

合運動公園建設は、つくば市の将来に大きく影響を及ぼすのは必至です。だからこそ、その賛否については、市民が直接決める住民投票の実施が必要です。

設を取りやめ、既存施設の改修・充実を求める要望」署名は、5300筆以上も集まりました。まだまだ反対の声は届いています。

366億円もの巨額な総

●総合運動公園を作ることについてご意見をお聞かせください
(基本構想についてはつくば市ホームページをご覧ください)

ご住所 〒

お電話

お名前



つくば市議会議員
総務常任委員会副委員長
北口ひとみ
この他、つくば市農業基本計画案の進捗とパブリックコメントについてもききました

総合運動公園 土地買収… 市長が詫びてすむ問題ではない！

総合運動公園については土地買収の段階から疑問な点が多く、調べれば調べるほど、多々不適切な点が判明。9月議会で追及したところ、事務処理上のミスとして最終日に市長の謝罪がありました。

しかし、問題は事務処理上のミスなどというレベルではなく、議員の判断を左右するかもしれない重要な情報が隠されていた点にあります。

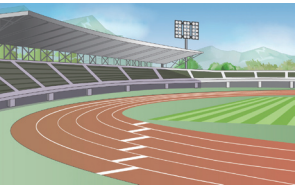
疑惑の一つは、土地取得にあたり市が行った不動産鑑定。土地取得を決める3月議会では、この不動産鑑定について1社しか説明も提示もされていませんでした。当時、市民ネットは、市の不動産鑑定資料を提供するよう求めていましたが、その時点では評価額1万6800円／㎡とする資料だけが提示されました。結局、3月議会では、約46haの用地を約66億円で取得することが1票差で決まっ

てしまいました。

ところが、その後の6月議会でもう1社、不動産鑑定をしており、その評価額は9130円／㎡だったと判明。高額な評価額しか知らされていなかったわけです。その後、更に情報公開を求めたところ、この他にも手続きや進め方、つじつまの合わない答弁など矛盾が次々にわかってきました。

総合運動公園整備300億円につながる重要な案件だけに、これらの疑問や矛盾は計画そのものへの疑念や不信に通じます。

市民に選挙で選ばれた議員への情報隠しは、ひいては市民への背任行為であり、詫びて済まされる問題ではありません。引き続き真相を究明していきます。



総合運動公園 建設すれば… 財政負担増は避けられない

市民ネットには、「総合運動公園は要らない」「少子高齢化は目前で、もっと他に優先すべきことがある」「TX駅前の新しい街に交流センターや児童館を作って欲しいと要望を出しても、お金がかかるからと実現しないのに、何十倍もの予算をかけて総合運動公園をなぜ作るのか？」など、市民の声が多く届いています。

そこで、総合運動公園を建設する場合、財政見通しはどうなるか質問しました。

市がH24年に公表した中期財政見通しによれば、H25～H29年度の主な普通建設事業は計284億円。2年経過して実態はどうなっているか確認したところ、414.2億円に膨らんだことがわかりました。（表）

総合運動公園を建設すれば、これがさらに膨らむことになります。歳入の大幅な増額は見込めず、結局は市民生活の様々な分野にしわ寄せが来るのは明らか。それだけの犠牲を払う価値のある事業か、広く市民全体の意見を聴くべきです。



つくば市議会議員
文教福祉常任委員
宇野 信子
この他、既存スポーツ施設の役割と維持費用、総合運動公園の用地取得に関する手続きについてもききました

H25～29年度に計画されている主な普通建設事業	H25～29年度の支出見込み	
	H23年度末試算	H26年9月試算
学校耐震化	20億円	37.9億円
小中学校新增築	123億円	189.5億円
TX関連区画整理	10億円	6.8億円
基幹道路整備	28億円	37.2億円
道路新設・改良・維持補修	24億円	64.6億円
リサイクルセンター建設	32億円	27.4億円
学校給食センター建設	30億円	32.8億円
消防本部・中央消防署建設	17億円	18億円
合 計	284億円	414.2億円

これに運動公園が加わるの!?



つくば市議会議員
環境経済常任委員
皆川ゆきえ
この他、荃崎町との合併検証、土浦市との合併勉強会についてもききました

総合運動公園より、子どもの居場所づくりを！

つくば市が平成25年度に実施したアンケートによると、放課後児童クラブを利用したいと答えた小学校1～3年生は62.2%、およそ3918人と推計できます。現在の利用児童は1851人ですので、約2000人の児童が希望しているのに利用できていない待機児童ということになります。

9月議会では、子ども子育て支援法制定に基づく条例改正案が可決され、小学4～6年生も児童クラブの対象になり面積要件も新たに規定されました。

さらに利用希望者は増えると考えられ、現在の面積では足りない児童クラブが出てきます。場所の確保が緊急の対策として必要です。

これまで、児童クラブに学校の余裕教室を活用することは積極的に進めていませんでしたが、今回、教育長より「状況を見ながら進めていく」という答弁がありましたので、ぜひ活用を進めて頂きたいと考えます。

また、児童クラブに入れない子ども達は、平日の放課後や夏休みなどの長期休暇中、自宅で過ごす時間が長くなり、体力低下、インターネットやゲーム依存、防犯の問題などが心配です。このような様々な問題が子ども達へしわ寄せになっているとも言えます。児童クラブ登録以外の子ども達も参加できる制度である「放課後こども教室」にも力を入れ、全ての子ども達が放課後に豊かな時間を過ごせるよう進めるべきです。

他にも、スタッフの確保・増員、時間延長など課題は山積、巨額の総合運動公園を作るより、もっと子育てに必要な施策を進めて欲しいと考えます。



議決の結果 (○：賛成、×：反対)		会 派 名	つくば・市民ネットワーク	つくば市民政策研究会	つくば自由民主党	つくば政清会	公明党	日本共産党	山中八策の会	筑峰クラブ	民主党	つくば維新の会	新社会党
URの土地を約66億円で総合運動公園用に買い取る議案（3月議会）	可決		×	○	×	○ ×：ヘイズ	○	×	×	○	○	×	
議会への情報提供や答弁について行政の誠実な対応を求める決議（9月議会）	可決		○	○ ×：飯岡	○ 退席：久保谷	○	○	○	○	×	×	○	
各会派の所属議員（敬称略） ※は会派代表 （議員数28 議長：金子）			*北口 宇野 皆川	*古山 須藤、柳沢、 高野、飯岡、 松岡	*五頭 久保谷 神谷 小久保	*塚本 大久保 木村し ヘイズ	*小野 浜中 山本	*滝口 田中 橋本	*塩田	*鈴木	*木村き	*黒田	*金子 （議長）